

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3-1	総合情報盤情報提供事業	継続	平成3年度	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	区民	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局・事業内容	—			
目的及び内容	JR武蔵小杉駅北口に設置している総合案内盤は、地図で区内の公共施設を案内しているほか、行政情報を文字情報で提供している。メンテナンスと文字情報サービスの更新を行い、引き続き情報提供を行う。 地図には区内の主要施設が表記され、合わせて点滅サインがあり、ボタンを押すことによりサインが点滅して当該施設の位置を案内している。 また、地図上部には文字情報が示され、月1回の更新により行政情報を提供している。					
予算額	605,000(円)	決算額	604,800(円)	不用額※	200(円)	
※不用の理由	—					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (JR武蔵小杉駅北口の総合案内盤)	駅前において不慣れな来訪者に区内主要施設を案内し、また、区民や通勤・通学等で駅を利用している人に対しては、文字情報で行政情報を提供した。 月1回機器の清掃及び点検作業を行い、併せて文字情報の更新を行った。			実施時期 (開催日/回数等)	通年 参加人数等 JR武蔵小杉駅北口利用者

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 総合情報案内盤は平成3年に設置されたことから、故障が多く、交換部品についても在庫がなくなりつつある。専用の設計・部品使用のため、委託先の変更が難しく、また交換部品がなくなりつつあることから委託先の業者は委託の継続について難色を示している。これらのことに加え、現在駅前再開発が急速に進み近年の内に地図情報が大きく変わることから、根本的にあり方を検討する時期にきている。 また、再開発が進み案内盤が複数必要になることから、案内盤の整備・管理主体について今後関係局と調整が必要である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	今年度は故障がなかったが、昨年度まで3年連続して故障が続いたこと、交換部品の入手が困難なこと、地図情報の更新が容易でないこと等からあり方も含めて検討する必要がある。

※ 区民会議からの主な意見

<ul style="list-style-type: none"> 保守点検経費については、協働推進事業費ではなく他の事業経費として支出できないか。保守点検経費が多く存在すると、他の新規事業の立案に影響があるのではないか。 周囲の環境が暗い。表玄関にふさわしくイメージアップの改善必要。
--

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3-2	中原区ホームページ事業	継続	平成14年度	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	区民ほか全国へ発信	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局・事業内容	市民局シティ・セールス広報室		
目的及び内容	行政情報を広く区民や地域住民に発信し、また区のシティセールスの重要なツールとして、円滑な区ホームページの運営を行なう必要がある。ホームページの適切な運用にあたっては、専門的な知識が必要とされることから、運用に係る支援を委託する。また、通常の更新作業を行なう区役所職員の技術力向上や広報マインド醸成のため、職員研修を実施する。				
予算額	609,000(円)	決算額	609,000(円)	不用額※	0(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (デザイン変更後の区HPトップページ)		職員向け研修会を4回実施。座学形式の広報マインド醸成講座のほか、ホームページビルダーの実習研修を行なった。延べ約80人の参加。 区ホームページのアクセシビリティ対応（音声ブラウザなどに対応したページづくり）を平成18年度の課題として取り組んだ。また、この対応に合わせトップページのデザイン変更も実施した。		
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加人数等	80人（講習会）	

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 4回実施した研修により各課担当職員の更新技術、広報マインドが上昇し、通常の作業が効率化した。またこれにより積極的な行政情報の発信が行なわれることとなった。今後市民の参加と協働によるまちづくりを進めていく上で、積極的な情報発信は必要不可欠であり、その基礎となる研修であると考えます。 課題として取り組んだホームページのアクセシビリティ対応については、公共のサービスを提供する行政として重要な取り組みであった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	より一層の情報社会の進展、小杉駅周辺の再開発事業に代表される人口増などにより、区ホームページの需要は高まると考えられる。一方、ホームページで提供されている情報の頻繁な更新、確認作業にかかる業務量は少なくない。より簡易かつ適切な管理が可能となるような運営手法を模索する。

※ 区民会議からの主な意見

・区のホームページに内容が古いと感じる記事がある。しっかりと更新して欲しい。
--

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3-3	窓口サービス改善事業	新規	平成18年度	区民課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所窓口サービス改善推進委員会	対象者	中原区民・区役所職員	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	<p>便利で快適な区役所窓口サービスを効率的かつ効果的に提供するため、窓口サービス改善推進委員会で検討を行い、必要な改善策を行なった。</p> <p>その内容としては、来庁者のプライバシー保護を図る為、窓口カウンターに仕切板や目隠し等/new設した。また庁舎内の案内板やサインを見直し、デザインを統一することで目的の窓口へ分かりやすく行けるようにした。さらに職員全員が参加する接遇研修を実施し、窓口応接の向上を図った。</p>				
予算額	5,405,000 (円)	決算額	5,103,819 (円)	不用額※	301,181 (円)
※不用の理由	工事請負費における契約差金				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (庁舎案内板の改善)		<p>庁舎総合案内板、エレベーター内案内板リニューアル、本館・別館案内図の新設、トイレ・会議室の案内板の増設を行い、市民に優しい区役所とした。また、受付カウンターに間仕切り板を設置し、プライバシー保護の向上をした。そして、庁内案内マップの作成やお知らせボードを設置して、スムーズな案内が行えるように改善した。</p> <p>また、職員全員が参加した接遇研修を実施、キャンペーンを実施するなどして、窓口サービス向上に向けた取り組みを実施した。</p>		
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加人数等	職員311人 (研修会参加者)	

2 事業評価

<p>評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>窓口サービス改善推進委員会及び推進リーダー会議での取り組みにより、区役所全体が窓口サービス改善の重要性を認識し、市民が求める便利で明るく優しい区役所を目指す姿勢が醸成された。</p> <p>また、設備面でサインの見直しと間仕切りパネル設置を実施した結果、来庁者を目的の窓口へスムーズに案内できるようになったとともに、各窓口でのプライバシーの保護も進み、より安心して手続きを行なうことのできる区役所となった。</p>
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	<p>設備面での改善や接遇研修により、安心して優しい区役所への一歩がスタートしました。この成果を大切にして、より一層の設備の充実と各種研修の継続により、ファーストコンタクトの一番の場所である区役所をより充実させていくために、今後もこの事業を継続することが大切である。</p>

※ 区民会議からの主な意見

<ul style="list-style-type: none"> 区役所職員の対応や雰囲気が変わってきた。カウンター上のプライバシー保護用の仕切りやローカウンターなどの整備も進み、いつでも区役所に来られるかなという感じがする。 区民の声はどのように聞いて反映されたのか。区民の声を事業に反映して欲しい。

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
3-4	自転車等放置防止啓発リーフレット作成事業	新規	平成18年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課	対象者	自転車利用者等	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	-	
目的及び内容	中原区は、自転車利用台数の増加等による駐輪場の不足、利用者のマナー・モラルの低下等により放置自転車が増加し、地域の課題となっており、早急に改善に向けた取組みを行わなければならない。ついては、区内各駅(6駅)ごとの駐輪場の案内図、自転車等の放置防止、利用者のマナー・モラル等を記したリーフレットを作成し、各駅配置の自転車等放置防止対策監視員や各イベント・キャンペーン等により自転車利用者等へ配布し、啓発活動を実施する。			
予算額	457,000(円)	決算額	418,950(円)	不用額※ 38,050(円)
※不用の理由	-			
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		写真のとおり、区内各駅(6駅、各1万部)ごとのリーフレットが完成し、各駅配置の自転車等放置防止対策監視員や各キャンペーン等による配布を行った。	
	(作成したリーフレットの写真)		実施時期(開催日/回数等)	平成18年12月作成 参加人数等 -

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
各駅ごとの駐輪場の場所や料金、自転車等の放置防止、利用者のマナー・モラル等が簡潔にまとめられているため、従前と比較して自転車利用者への案内・啓発がしやすくなり、放置自転車の増加に伴う早急な改善に向けた取組みの一助となっている。 また、本リーフレットについて住民からの需要もあり、一定の成果が見られる。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	リーフレットの作成事業は達成したことから終了とする。 なお、当該リーフレットによる啓発活動については引き続き実施していく。

※ 区民会議からの主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・区が放置自転車対策に積極的に取り組んでいるという姿勢がわかる。引き続き取組みをお願いしたい。 ・イベント・キャンペーン等による配布も良いが、町内会自治会の協力を得て全戸配布や、単身者等の世帯についても対応が必要だと思う。
--